

連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう!!

労福協

夏号
Shizuoka Rofukukyo Dayori
Summer
だより
(一社)静岡県労働者福祉協議会

県労福協 創立50周年祝賀会

県労福協第52回定期総会

第62回労働金庫通常総会

「フードバンクふじのくに」設立総会

ぼうさいカフェ

福祉基金(ALWF)協会からのお知らせ

シリーズ **運動継承!**

事業団体職員・労福協役員へ

贈る言葉

地区労福協事務局長の
リレートーク No.13

人物登場

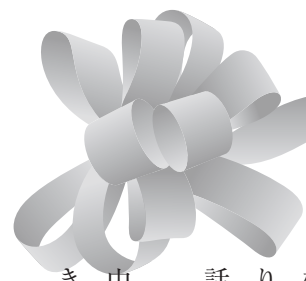
退福協・グリーン友の会総会

第64回勤労者総合美術展



「ありがとう」の言葉は
想定外の見返りです!





最後に労働金庫の加藤理事長の
中締め挨拶で50周年祝賀会はお開
きとなりました。

その後、全労済の佐竹本部長の乾
杯があり、参加者での歓談が始ま
り、久しぶりに再会した方同士で昔
話に花が咲きました。

また、創立50周年祝賀会では記念事業の一つと
して社会的に有益な活動を実施し
ている、「フードバンクふじのくに」
と特定非営利活動法人「静岡県ボラ
ンティア協会」に寄付金の贈呈を行
いました。

この記念映像が終わると、参加者から多くの拍
手をいただきました。是非、地区労協や労働組
合での研修でこの記念映像（DVD）を活用して
いただきたいと思います。

最初に県労協を代表して吉岡理事長が挨拶
を行いました。

次に静岡県高副知事と中央労協
協山本副会長から祝辞をいただき
ました。



県労協 「50周年祝賀会」開催する



寄付金贈呈



主催者挨拶 吉岡理事長



高副知事の祝辞



中央労協山本副会長の祝辞



乾杯 佐竹本部長



中締め 加藤理事長

吉岡理事長の祝賀会冒頭挨拶（趣旨）

1964年に県労協が誕生した。その少し前に中央
労協の前身の中央物対協が誕生したが、中央物対協の
運動が自主福祉運動の原点になっている。戦後の大変な
生活苦の時代に労働者の生活物資を共同で調達しよう
とした運動が起こった。この運動の中心的な役割を果た
したのが中央物対協である。当時、物対協を構成してい
た36の団体がイデオロギーを乗り越えて、「福祉は一つ」
を合言葉にスクラムを組んだと聞いている。

さて、現在社会は表面的には豊かな時代になったが、
良く見てみると、悪徳商法、ブラック企業が横行してい
る社会、精神を病んだ人が多くいる社会になっている。
私たちが豊かで幸せに暮らしている向こう側には貧困
社会が広がっている。

50周年を契機に未来に対して強い思いを持ちたい。そ
の思いとは労働者自主福祉運動の原点である。その原点
を今一度皆で確認して皆で良い社会を作りたいと思っ
ている。リーダーが小異を捨て、大同につけば「連帯と
協同の仕組み」がつけられると思っている。先日、設立さ
れた「フードバンクふじのくに」は「連帯と協同の仕組
み」作りの実験場だと思う。連帯と協同の気持ちを持っ
た仲間が集まってその活動を進めていくことが、これか
らの運動の試金石になると思っている。50周年を契機に
皆と一緒に取組みを強化していきたい。

1964年11月13日に静岡県労働者福祉
協議会が設立されて、半世紀が過ぎようと
しています。50年の流れの中で社会情勢も
大きく様変わりしましたが、「労働者の福
祉要求の実現を通じて、労働者家族の生活
向上と安定をはかり真に平和で豊かな暮
らしを保障する社会を創る。」を労協の
理念として労働者福祉運動を進めてきま
した。

県労協では創立50周年を祝うと共に、
県労協の50年の歩みを振り返り、設立
された意義などを再確認して、今後の県
労協の活動に活かしていくために、祝賀
会の実施、DVD・記念誌の作成を創立50
周年の事業として準備して来しました。
創立50周年祝賀会については、第52回定
期総会終了後にホテルセンチュリー静岡
で開催しました。祝賀会には静岡県副知
事、県関係者、NPO団体、福祉事業団体、
労働団体、他県労協役員、県労協役員
など約210名が参加しました。



司会 片川乃里子さん

静岡ろうきんは6月25日（水）静岡市葵区紺屋町のグランディエールブテローカイで第62回通常総会を開催しました。

通常総会には県下各地より222名の代議員が出席し、議長団にはユニバーサル製缶労組の坂中代議員と三菱電機労組の大石理事が選出され議事が進められました。

総会の冒頭、加藤理事長より「2013年度はアール・ワンシステムの確実な移行と3カ年計画の重要な中間年と位置づけ、会員



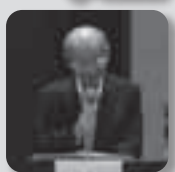
静岡ろうきん 第62回 通常総会開催

全ての議案を満場一致で承認！

「働く人の夢と共感を創造する協同組織の
福祉金融機関としての役割発揮」

と役員が一体となって取組みを進めてきた。アール・ワンシステムは5年に渡り、労働金業態の最重要課題として取組んできた。全国638店舗のシステムを一齐に切り替える、大きなリスクを伴ったプロジェクトであった。静岡ろうきんでも移行は利用者第一の姿勢で対応し、その結果、1月に無事に移行を成功することが出来た。現在はトータルコストの削減、事務の堅確化・効率化を通じて、競争力強化を図り、商品やサービスを還元していくというアール・ワンシステムの目的を達成するための取組みを進めている。

預かり資産の目標は大きく達成した。給与振込、財形預金の取組みも前進した。しかし、預金・融資ともに目標を達成することが出来なかった。特に預金については期首割れと



戸倉専務理事



加藤理事長

なったため、今後の預金結集運動の深堀が求められている。さらに日本の人口構造の変化と高齢化を考えれば預金の結集の取組みは岐路に立っていると認識している。このような現状の中、静岡ろうきんを設立した当時の運動の原点を見つめ直し、今後の運動に活かしていく事が大切である。

現況を把握して環境変化を敏感に感じとり、今後の事業に活かしていきたい。」と挨拶がされました。

また、挨拶の中で、加藤理事長が今総会で退任する事も触れられました。

第62期事業計画については戸倉専務理事より「2014年度は中期計画『飛躍』の最終年度となり、2015年度以降の中長期計画の検討も行わなければならない重要な年である。静岡ろうきんの利用を通じて『人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与』する事に思いを込めて事業計画を策定した。」と提案されました。

理事の補充では清瀧照光氏、古川正明氏の2名の選任があり、満場一致で承認されました。

なお、総会終了後に理事会が開催され、古川正明氏が理事長に選定されたことが報告されました。



静岡県労福協 第52回 定期総会を開催

連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう!!



相羽議長



吉岡理事長

6月17日（火）、静岡県労働者福祉協議会第52回定期総会がホテルセンチュリー静岡で開催されました。今総会は、県労福協「創立50周年祝賀会」が総会終了後に控えていた関係で、来賓挨拶、地区労福協の活動報告は行いませんでした。総会には、代議員33名、オブザーバーなど総勢93名の参加を得て開催し、2014年度活動方針（案）・新役員・定款変更などの議案はすべて満場一致で承認されました。

今回総会は、議長に磐田地区労福協の相羽代議員が選出され、議事が進められました。

冒頭、吉岡理事長は「農協改革・残業代ゼロ法案など心配することがある。政府が強いので諦めようと考えている方もいるが、諦めてはだめだ。労働者は弱いから連帯する必要がある。弱いから、行動する必要がある。行動するから強いものに對抗できる。だから、今は行動することが求められている。」と挨拶を行いました。

2013年活動報告では金指専務理事から「県労福協は今年で50周年を迎える。記念すべき節目の年を皆様と一緒に迎えることが出来る事を喜び合いたい。」と活動報告に入る前に挨拶を行いました。活動報告では、①地域・地区労福協の役割②静岡県への行政要望③福祉事業団間の連絡調整④静岡県からの委託事業⑤国際交流事業⑥地域役立資金の運用・管理の項目に従い報

2014年度～2015年度 県労福協理事会役員名簿

役職	氏名	選出母体
理事長	よしおか ひでき 吉岡 秀規	県労福協
副理事長	なかにし きよふみ 中西 清文	連合静岡
副理事長	ふるかわ まさあき 古川 正明	連合静岡
副理事長	さたけ いさお 佐竹 功	全労済県本部
副理事長	よしだ たかあき 吉田 敬哲	県生協連
専務理事	かねざし あつし 金指 敦之	県労福協
理事	ますだ たかし 増田 隆	福祉基金協会
理事	いしづか ともあき 石塚 智昭	県勤信協
理事	やまもと かずあき 山本 一彰	沼津地域
理事	おおし まさくに 大石 雅邦	静岡地域
理事	むとう けんじ 武藤 憲司	西遠地域
監事	にしやま のぶまさ 西山 延正	富士地域
監事	なかむら ひろし 中村 洋	志太榛原地域
監事	とりの つとむ 鳥居 勤	中東遠地域

告を行いました。

2014年度方針（案）については金指専務理事から、県労福協の6つの役割に従い、活動方針を提案しました。また、方針（案）の最後に「50周年の節目の年に、県・地区労福協の活動、事業団体の活動を見直し、活動を強化して欲しい。50周年記念事業で作成したDVDを原点教育や事業団体の支援に繋がるように活用して欲しい。」とお願いをしました。

また、今総会では「幹事及幹事会」について実態に即しないため実態と合せるように定款変更も行いました。

その後、中西労働部会長より、2014年から2015年の理事・監事の新役員の提案があり役員全員が満場一致で承認されました。

引き続き、退任・新任役員の挨拶を受け、第52回定期総会が無事終了しました。

ぼうさいカフェ inしずおか

主催：全労済静岡県本部
後援：内閣府政策統括官（防災担当）・
静岡県・静岡県労働者福祉協議会

開催！



全労済静岡県本部では、4月19日（土）青葉イベント広場（静岡市葵区呉服町）にて、防災や減災について楽しく学んでいただくイベント、「ぼうさいカフェinしずおか」を開催しました。

体験コーナーでは、静岡県中部危機管理局の皆さまのご協力のもと、地震の揺れをリアルに体験できる起震車で地震体験をしていただきました。

ステージイベントでは、防災知識についてクイズ形式で解説する「ぼうさい紙芝居」、風船を使ってさまざまな動物やキャラクターを作る「バルーンアート」を行いました。

非常食の展示・試食コーナーでは、一食分ずつ箱に入った材料、水、発熱剤だけでつくるカレーライスが人気でした。

紙工作「紙ぶるる」や工作実験「ストローハウス」などのワークショップでは、ご家族で真剣に取り組む姿も見られました。

当日は、少し肌寒い天候でしたが、約1,100名の方々にご来場をいただきました。ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました！



◇「ぼうさいカフェ」とは、内閣府が防災知識モデル普及事業として、社会全体の防災力向上や県民の防災・減災意識を高めるために取り組み、推進しているイベントです。

フードバンク ふじのくに 設立！

昨年7月から実施検討委員会、設立準備委員会を開催し、準備してきた「フードバンクふじのくに」の設立総会と記念フォーラムが勤労者総合会館で5月19日に開催されました。

「フードバンクふじのくに」は、まだ安全に食べられるにもかかわらず処分されてしまう食料を、企業や個人から寄贈を受け、生活困窮者等、支援を必要としている人に適切に配る仕組みとして確立させ、相互扶助の社会作りを目指す事を目的として設立されました。

また、この「フードバンクふじのくに」は県内の10を超える団体の協力のもと設立されました。

当日は、最初に設立総会を開催し、定款、役員の選任、事業計画等が提案され、全ての議案が承認され、「フードバンクふじのくに」が誕生しました。また、理事長に静岡大学社会科学部教授の日詰一幸氏が選出されました。日詰理事長は「生活に困る人たちへの支援は待ったなしの状況である。活動の認知度を上げ、協力の輪を広める必要がある」と挨拶を行いました。

総会終了後には設立記念フォーラムを開催しました。フォーラムには地区労福協、福祉事業団体、退福協、グリーン友の会などの130名以上の方々に参加していただきました。フォーラムでは、フードバンク山梨の米山理事長を講師として招き、「誰もが食を



わかち合える社会のために」という演題でフードバンクの実践事例の報告をしていただきました。

フードバンク山梨は、米山理事長が一人で2008年10月に任意団体として立上げ、現在では、遊休地を活用して「フードバンクファーム」として整備して、生活困窮者の就労準備支援や、国への政策提言、相談支援室を開設するなど幅広く生活困窮者への支援を行っています。

また、フォーラムの中では、静岡県労働金庫から、軽ワゴン車の目録の寄贈、福祉基金協会から、寄付金の目録の寄贈がありました。当日、フォーラムに合わせ、フードドライブも行い、参加者から多くの食料の寄贈をうけました。約70kgの食料が集まり、この食料は支援を必要としている団体に届けます。

テレビや新聞社の取材があり、フードバンク事業が社会的に注目されている事が良く分かりました。今後、フードドライブなど実施の際には多くの方のご協力を期待しています。

「フードバンクふじのくに」事務所
静岡市葵区宮ヶ崎町53
電話 054-248-6177
FAX 054-248-6178

ロッキーカーレッジのご案内

【タニタの社員食堂健康セミナー】

生活習慣病を防ぐための食生活を中心に、タニタの社員食堂まんぶく定食のレシピや調理のコツ、タニタの健康に関する取り組みなどを紹介します。

- ◆日時 7/26(土)13:30～15:00
- ◆会場 浜松労政会館
- ◆募集 80名 ◆参加費 無料
- ◆講師 株式会社タニタヘルスリンク 管理栄養士
- ◆申込 ライフサポートセンターしずおか西部 TEL053-466-6307

【楽しく食べて健康に!】

食事を楽しむことの大切さや、コレステロール、カルシウムとからだのメカニズム、肥満とやせ過ぎがもたらすリスクについて詳しく解説します。

- ◆日時 10/5(日)10:00～12:00
- ◆会場 長泉町福祉会館
- ◆募集 80名 ◆参加費 無料
- ◆講師 キューピー株式会社講師
- ◆申込 ライフサポートセンターしずおか東部 TEL055-929-9820

【おやこおこづかい教室】 お金の大切さや使う難しさを「こづかいゲーム」で楽しく学びます。

- ◆日時 7/26日(土)9:30～11:30
- ◆会場 三島商工会議所
- ◆申込 ライフサポートセンターしずおか東部 TEL055-929-9820

- ◆日時 8/2(土)10:00～12:00
- ◆会場 ALWFロッキーカーレッジ
- ◆申込 ライフサポートセンターしずおか中部 TEL054-270-3963

- ◆日時 9/13(土)10:00～12:00
- ◆会場 浜松労政会館
- ◆申込 ライフサポートセンターしずおか西部 TEL053-466-6307

- 募集 小学生30名とその保護者
- 参加費 こども1人300円。きょうだいで参加の場合、2人目以降100円
- 講師 山川正人さん(静岡ライフプラン設計相談室)

2015年10月、消費税増税第二弾。でも…

【まだ間に合う!家建てマネー戦略塾】

一生で高価な買い物と言われるマイホームは、後悔しないよう事前準備をしっかりとりたいもの。この講座では、はじめての一步編として、住宅展示場や現場見学会へ出かける前に考えておくべきお金と住まいの二つの基準について学びます。

- ◆日時 7/19(土)10:00～12:00

【こづかいから考える我が家の家計管理】

「こどものこづかい」をキーワードに、前半は、家庭での金銭教育～こづかいのはじめ方や進め方～、後半は、保護者自身の家計管理～こどもの教育費がかかる時期までに行いたい家計の見直し～について紹介します。

- ◆日時 9/10(水)10:00～12:00

- 共通◆会場 ALWFロッキーカーレッジ ◆募集 30名 ◆参加費 無料
◆講師・申込 山川正人さん(静岡ライフプラン設計相談室 代表) TEL 054-221-5632

【脳いきいき講座】 認知症の正しい理解と予防について詳しく説明します。

- ◆日時 9/22日(月)13:30～16:00
- ◆会場 ALWFロッキーカーレッジ
- ◆申込 ライフサポートセンターしずおか中部 TEL054-270-3963

- ◆日時 10/5(日)13:30～16:00
- ◆会場 磐田市見付公民館
- ◆申込 ライフサポートセンターしずおか西部 TEL053-466-6307

- ◆日時 11/8(土)13:30～16:00
- ◆会場 裾野市生涯学習センター
- ◆申込 ライフサポートセンターしずおか東部 TEL055-929-9820

- ◆日時 11/9(日)13:30～16:00
- ◆会場 浜松市和地協働センター
- ◆申込 ライフサポートセンターしずおか西部 TEL053-466-6307

- 共通◆募集 50～80名前後(会場によりかわります) ◆参加費 無料
◆講師 日本早期認知症学会理事長 志村孚城さん、日本早期認知症ケア学会評議員 奥山恵理さん

【支える人のケア】 こころの病や介護など大切な方を支えるあなたも大事です。悩みを抱えすぎないためのアドバイスと音楽鑑賞でこころを軽くしませんか?

- ◆日時 11/15(土)10:00～12:30
 - ◆会場 ALWFロッキーカーレッジ
 - ◆募集 60名 ◆参加費 無料
 - ◆申込 ライフサポートセンターしずおか中部 TEL054-270-3963
- 第一部(講演) あなたがまいってしまわない為に
松本晃明さん(静岡県立静岡がんセンター腫瘍精神科部長)
- 第二部(音楽鑑賞) 生演奏で癒しの時間
稲木良光とロイヤルジャパンアンサンブル

【本当はこわい! お口の病】

歯周病が糖尿病や心疾患、脳梗塞に影響を与えるをご存知ですか?最近のお口トラブルを中心に口腔ケアの大切さもお伝えします。

- ◆日時 8/30(土)10:00～11:30
- ◆会場 浜松労政会館
- ◆申込 ライフサポートセンターしずおか西部 TEL053-466-6307

- ◆日時 9/20(土)10:00～11:30
- ◆会場 袋井市総合センター 3階研修室
- ◆申込 ライフサポートセンターしずおか中東遠 ※8/18より受付 TEL0538-33-3715

- 共通◆募集 各30名 ◆参加費 無料
◆講師 森野智子さん
静岡県立大学短期大学部歯科衛生学科講師 静岡県歯科衛生士会副会長

開催報告 詳しくは

SEARCH ライフサポートセンターしずおか

【楽しく、食べて健康に!】

(2014/4/19 ALWFロッキーカーレッジ)

70歳以上の4人に1人がたんぱく質不足による栄養失調。高齢期の粗食は避け、タンパク質や脂質を進んで摂取、多様な食品をまんべんなく、楽しみながら食事をとることが、いつまでも健康である為に大切なこととまとめました。



【今からはじめる老い支度】

私の人生パワー全開

(2014/6/4 沼津労政会館)



タレントの泉アキさんを迎え、2度の乳がん闘病体験を中心としたこれまでの人生を振り返り、辛い経験も持ち前の明るさと前向きな生き方で乗り越える“アキ流生き方”を披露しました。

日常生活で起こるトラブルや悩みごと等のご相談に応じます。お気軽にご利用下さい。



- ★暮らし何でも相談
消費生活、家庭、労働、子育て、介護、年金、住まい、多重債務、融資だけでなく、生きがい、生活設計、ボランティアなど、充実して暮らすための相談なども結構です。
- ★豊富な相談協力ネットワークにより、適切な専門機関をご紹介します。
(弁護士、司法書士、行政機関、社会福祉協議会、金融機関、NPO団体等)
- ★相談は原則無料
- ★県内6箇所のセンターで相談に応じます。

相談ダイヤル

受付は平日
9:00～17:00

東部：055-922-3715 西部：053-461-3715
中部：054-273-3715 中東遠：0538-33-3715
しだはいばら：054-646-6055
岳南：0545-51-3715

●「ALWF(アルフ)ロッキーカーレッジ」のご利用をお待ちしております!!

会議室の利用方法や料金等のお問い合わせ、お申し込み等は下記で承ります。

■問合せ先
公益財団法人 静岡県労働者福祉基金協会
ALWFロッキーカーレッジ

〒420-0851 静岡市葵区黒金町5-1 静岡県勤労者総合会館3階

TEL 054-273-3000 FAX 054-272-7326



人物登場

地区労福協事務局長のリレートーク No.13

ハマスナ カツヒロ
濱砂 勝洋さん

田方地区労福協 事務局長

出身組織：旭化成労働組合 大仁支部
役職：支部長

- ①趣味：推理小説を読む
- ②モットー：なんとかなる
- ③最近感動したこと：メジロが帰ってきた(^_^)/
- ④最近失敗したこと：原稿締切りを守れなかった(^_^;) ;



田方地区労福協の事務局長を仰せつかり、3.5年が経ちました濱砂（はますな）です。事務局長リレートークということで、紙面をお借りします。

突然ですが、我が家の庭にはバラやアジサイなど数種類の植物があります。この時期に咲くことを楽しみに、休日には家内と庭の手入れをしています。先日、ふと見ると、やまぼうしの木に鳥の巣がありました。よくよく観察すると、メジロのようです。いつも巣にいるので、ひよっとすると卵があるかもしれません。実は2年前にも同じ木にメジロが巣をつくり、4羽のヒナが巣立ちましたが、そのうちの1羽が帰ってきたのでしょうか。メジロは、その家が安全であることを感じ取って巣をつくと聞きました。自分たちの楽しみの為にした庭の手入れが、メジロにとって安全な環境を提供することになり、住みつくという思いもしなかった結果につながったことをうれしく思います。

ところで、労福協の活動では働く仲間のためという思いで、地方行政への要望などを行っています。その地区に住む、あるいはお勤めになっている働く仲間の皆さんとそのご家族が、安心・安定した生活ができるような地域社会となるよう、仲間の声を行政に届けています。これらの活動を行うことの見返りを期待していませんが、地域にお住いの仲間の方から「ありがとう」と感謝の言葉をもらった時は、想定外の見返りであり、活動をやったことを本当によかったなと感じます。

「ありがとう」の言葉は
想定外の見返りです！

さて、県労福協は設立50周年、私も同じ年です。私が両親や家族、友人・知人、そして仲間にて育ててもらったように、労福協も多くの先輩方の手でここまで築き上げられてきたことに敬意を表します。私たちの役目は、自分の子供を育てるのと同じように、労福協の活動を守りそして膨らませ、次の世代に引き継いでいくことです。会長を中心に幹事一同、働く仲間の為に、見返りを求めることなく、悩みながら楽しみながら活動していきたいと思います。

さて、紙面に余裕もありますので、少し自己紹介など…。静岡では珍しい名字だと思いますが、出身は宮崎県で、転勤で静岡に来て20年が経ちました。二人の子供も大学生になり家を出ましたので、広く感じる家で家内と3匹の犬とで暮らしています。難しい本は読みません（読めません）が、推理物が好きで今度映画が公開になる「万能鑑定士Q」シリーズに嵌っています。主人公のイメージがちょっと違うけど、庭の手入れを休んで家内と映画デートしようかな？

運動継承！

事業団体職員・労福協役員へ

贈る言葉

4回シリーズ
その1

野口 武利

事業団体職員・労福協役員へ贈る言葉は、今回から4人目の寄稿者となります。
現在、藤枝市に在住の「野口武利」さんは県労福協の副会長として1980年から1991年、会長として1991年から2003年までの長きにわたり県労福協で活躍された方です。野口さんは大所高所からものを見るかたであり、バイタリティーある方だと聞いています。



「君のおかげで、こんなに心が無く、物ばかりの嫌な日本になってしまった。君の責任で直してもらわなければならない」。

昭和五十年の夏、京都のある茶屋で、大徳寺の立花大亀老師が、次席の松下幸之助に向かって言い放った。

丁度、終戦から三十年になります。

戦後の焼の原からコッコツと暮らし方を整え子供は出来るだけ少なく、辛くても皆で努力した結果、経済は少しずつ回復し、戦後の傷跡を直し、新生日本の土台を作りなおすはずだったんですが……。

高度成長の経済が、ほちほち峠にさしかかった頃、再出発の前に、何故戦争になってしまったのか、どの辺までの国々に迷惑をかけたのか、丁寧な棚卸しが無いまま、又三十年を経過してしまいました。

勿論、学校では、こんな授業はしません。
政治の世界でも余り話題になりません。

世界も日本も様々な問題にぶつかり模索を続けていますが……。

経済は少し停滞し、人口の増加が止り、高齢化、高学歴化が進み、結果として、社会保障費や、教育費がふくらみ、家計も、国家財政も収支に狂いが生じて来ています。

国の借金は一〇〇兆円にもなり、俗に云うGNPの二年分です。日本の長い歴史の中で、これ程の借金をした事はありません。

「失われた二十年」と云われます。

インフレと同時に進行だった日本経済は、全てがインフレ対策に傾斜していったから、デフレ対策は上手に出来ませんでした。

オイルショックも、円高ショックも、リーマンショックも企業側は一番早く対応出来ましたが遅れたのは国と、個人の生活でした。

ほんの少し前までは、個人も集団も、何か必要な物があれば、それを手に入れるまで根気よく節約し、貯めて行くと言う文化だったはずで。それが、いつからか、

身分不相応なローンを組み、返済の手立を待たずに国債を発行する政府、これでは周辺の様子を見たり、全体との調和に気をつかったりの余裕が無くなり、家庭や、国までもが共通の目標が見えなくなり、結束する力が衰えて来ます。

東西の冷戦時代のイデオロギー紛争は、終焉に近いようですが、日本の周辺だけは、未だハッキリしません。加えて、宗教上の違いによる紛争が、舞台上上がって来ました。

目先の事はしばらく横に置いて……

「大きな将来の事」、「長い時間の必要なテーマ」、「地球規模での信頼関係等」、

丁寧に、粘り強く議論の出来る踊り場を作り提供して行く時期のように考えたならば……。

誰かが答えを出してくれる時代は終わりました。

物事の本質を見極める能力をつけないければ生きて行けません。

第32回 ろうきんグリーン友の会 県連絡会報告連絡会開催



ろうきんグリーン友の会県連絡会は、去る5月22日、静岡労政会館3階ALWFロッキーセンターにて県労福協金指専務、労働金庫松本常務、全労済佐竹本部長、県退福協田口会長を来賓としてお招きし、第32回報告連絡会を開催しました。

主な活動方針として、地域の活動の充実をはかるため、同好会やサークルは地区から地域に活動を広げ「楽しみづくり」「生き甲斐づくり」を増やし、地区交流も兼ねて地域活動として実施することを確認いたしました。ろうきんグリーン友の会の主要事業として、観劇ツアー・日帰り旅行の実施、またボランティア活動もタオル・ウエスを福祉施設等に寄贈、エコキャップの回収などを地区活動として実施していくことも承認されました。

第2部は、「楽しく食べて、健康にー」の演題でキユーピー(株)飛田昌男氏の講演を拝聴しました。生活習慣病にならないようにと食生活に注意をしている時代に、栄養失調になる人が多くなっていると聞き、驚きました。「肉より魚を食べましょう」と言われていますが、粗食ではなく、肉も魚も毎日食べて、楽しく1日10食品都を取ることを心掛け、健康寿命をのばしていきましょう。という、食生活と健康の講演でした。

第34回 静岡県退職者福祉協議会 定期総会



去る、6月4日(水)第34回静岡県退職者福祉協議会定期総会が開催されました。

他方、労組組合員からも外れていく事から、退福協新規加入が難しくなり、会員拡大が大きな問題となっております。

組織の拡大にむけて、地区労福協とつながりをもって、労福協活動に対し積極的に参加し、合同による労働者自主福祉運動の拡大に寄与する事で、退福協の存在と活動に対する理解を深めて頂くようにしていきます。

労福協って なあに？！



ろうきんグリーン友の会や労福協はめとる各事業団体と、できるところは連携を深め諸活動で共催できるものは、合同で実施していくことを確認しました。



山田 由子「残照」

大賞

第64回 静岡県勤労者総合美術展 開催される



第64回静岡県勤労者総合美術展が4月2日から4月6日の5日間にわたりグランシップ展示ギャラリーで開催されました。今回は、県下各地から213点の出品をいただき、期間中の入場者は400名を超え盛況の内に閉会しました。

今回、絵画、写真、書道、手工芸の部で4人の先生に金賞・銀賞に12点、奨励賞17点を選んでいただきました。入賞された作品もレベルが高く、魅力ある作品でした。

絵画審査を担当していただいた吉野勝彦先生からは「金賞の『残照』はグレートーンに統一された画面の中にひまわりの黄色い花びら3枚がポイントとして描かれていて、自己の内面性や精神性が共感を生んでいる。」と高い評価を受けました。

写真審査を担当していただいた柴山先生からは、「風景写真を見て思うことはスケールの大きさを生かす上で半切サイズでのプリントをおすすめしたい。タイトルは鑑賞の糸口と言える。なるべくシンプルに考えて欲しい。」との講評をいただきました。

書道の藤田先生からは、「大事な事は古典の学習である。古意を感じない作品は問題にならない。それを念頭において筆を通して書く者の感情が表出できているかどうかにかかってくる。」との講評をいただきました。

この「静岡県勤労者総合美術展」は、県内の労働者が余暇を利用して、健全な文化に親しむ機会を広げ、心の豊かさを求め、ゆとりある生活の充実に寄与する

第64回 静岡県勤労者総合美術展受賞者

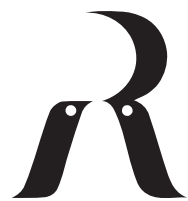
金賞	賞	名前 (種目) 題名
	勤労者美術展大賞	山田 由子 (絵画) 残照
	県知事賞	小岱 尚子 (手工芸) 飾盆
銀賞	静岡市長賞	畑 新 (写真) 年輪
	労福協理事長賞	梅田 魚川 (書) 王摩詰詩
	連合静岡会長賞	望月 幸次 (絵画) 星あかり
	労働金庫理事長賞	森浦 卓士 (手工芸) 灯
	全労済県本部長賞	西川 章司 (写真) サル山
	福祉基金協会理事長賞	江間 敬弘 (絵画) PLEASE GOD, WAKE ME
	勤労者信用基金協会理事長賞	村田 なよ (手工芸) 春・来る
	年金福祉協会理事長賞	高山 吉直 (絵画) 浜名湖パルパル
	県生協連会長賞	井上 敦士 (写真) 夕暮れ時に想いを…
賞	ユニオントラベル賞	大石 廉一 (絵画) 橋のある風景

ことを目的に開催しています。

今回の開催については4月8日からグランシップ展示ギャラリーで作品を展示する予定です。より多くの勤労者の方々に応募いただき展覧会を盛り上げていただきたいと思っています。まだ、時間はたっぷりあると思います。今から作品の制作に手掛けていただければと思います。

また、作品搬入・搬出作業には地区労福協の役員、事業団体などの皆さまにお手伝いを頂きました。深く感謝申し上げます。

※金賞・銀賞の作品は県労福協のHPでご覧になれます。



暮らしのあれこれ、
ご相談は〈ろうきん〉へ。

お子さまの入進学を
応援します！
〈ろうきん〉

教育ローン

クルマやバイクの購入から
車検まで！
〈ろうきん〉

オートローン

マイホームの夢の実現に！
〈ろうきん〉

住宅ローン

つもる話はアフターファイブに。

県内〈ろうきん〉の全営業店で開催中！
水曜よりみち相談会

予約優先
※1

毎週水曜日 17:00～19:00

各種ローンはもちろん、
預金や個人向け国債、投資信託の相談もOK。※2

※1 ご予約のない場合、混雑状況により当日のご相談をお受けできないこともありますので予めご了承ください。
※2 個人向け国債、投資信託のご相談は予約制となります。
※ いずれの相談会も、一部開催しない日がございます。

ビボパ de ろうきん 携帯電話からでもOK！

フリーダイヤル **0120-609-123**
平日 9:00～18:00



いつもあなたの目線で。

静岡ろうきん

はずむ話はデイトタイムに。

県内ローンセンターで開催中！
日曜のんびり相談会

予約制
※1

毎週日曜日 9:00～12:00 13:00～16:00

3ローンセンターでは土曜日も相談OK。
浜松中央ローンセンター・静岡中央ローンセンター・富士ローンセンター

団体旅行

旅行プラン企画

レク・行事

会場手配・設営

チケット手配

お弁当手配

ギフトカード

視察研修

宿泊会議

ご担当者様のお悩みを解決!!
不安なこともまかせて安心!

ご予算・ご要望等、お気軽にご相談下さい。見積もりから予約・当日の段取りまで徹底的にフォローします。

おかげさまで創立25周年！ **静岡ユニオントラベルとは？**

働く人の有意義で豊かな社会生活をサポートする《旅行・ギフト・損害保険》の会社です



私達は、事業を通じて勤労者との絆を深め、「安心」と「安全」をサポートします。

静岡ユニオントラベル

〒422-8067 静岡市駿河区南町 11-22 労働会館 3F

TEL 054(203)6877(代)

静岡県知事 登録 旅行業 第2-309号

FAX 054(203)6878

http://www.union-travel.co.jp

詳しくはこちら



読者のページ

■ゲートキーパーの記事、大変参考になりました。職場でも、メンタル面で通院・休職する従業員が確実に増えています。特に年齢的にまだ若い男性社員に多いです。私も昨年「ゲートキーパー養成講座」と「傾聴ボランティア講座」を受講しました。家庭でも職場でもまずは「気づき」を心がけ、見流さないようにしたいと思います。今後、もっと「ゲートキーパー」が普及することを願っています。
沼津市 大塚様

■今年で退職です。全労済の生活保障プランナー講座で学んだことを生かしていきたいと思います。おかげで、上級資格も取れました。
三島市 飯田様

■〈図上訓練について〉このような、ボランティアによる訓練が行われていた事を初めて知りました(スマセン)。静岡は、いつ東海地震がおきてもおかしくない・・・といわれています。私たち家庭においても、ちゃんとした意識が必要だと感じました。
静岡市 鈴木様

■いつ起こるか分からない東海地震、首都直下地震などの大規模災害の備えとして、救援活動のための図上訓練での課題解決が大いに活用されることを切に望みます。内閣府が共催団体として加入したことは大いに意義のあることだと思います。これからも頑張ってください。陰ながら応援しています。
浜松市 松根様

■「ゲートキーパー」という事を、この労福協のおかげで知りました。静岡県内にこれほど、自殺者が多い事にはびっくりしたのと落胆の思いです。是非この制度を広めみんなに知ってほしいと思います。静岡県は気候もいいし自然がいっぱいで、とてもいい所だから、心の病は少しでも減るといいです。
浜松市 大箸様



あなたも労福協だよりにご意見、ご質問をお寄せください。掲載させていただいた方には粗品をプレゼント！

事務局員紹介

(磐田地区労福協担当)



氏名／**石井 由香里**

血液型／**A 型**

趣味／**舞台鑑賞**
(おもに渋谷)

昨年の3月よりこちらの事務所でお世話になっています。事務所ではLS Cの方と連合地協の方と一緒させていただいています。日当たりもよく労金磐田支店も近いので快適に仕事ができます。こちらへ立ち寄ってくださる役員さん、地区退福共の方が気持ちよく笑顔で過ごせる場所を目指しています。明るく元気な事務局員としてこれからもよろしくお願いします。

あなたも

2,000円をゲット
しよう!

ホームページからの応募も可能です

1. 静岡県労働者福祉協議会が設立されたのは？
A 1964年11月
B 1984年11月
C 2004年11月
2. 5月19日設立されたフードバンクふじのくにの理事長は？
A 日詰 一幸
B 豊田 一幸
C 日詰 佳央里
3. 田方地区労福協 事務局長の濱砂勝洋さんの趣味は？
A 推理小説を読む
B 仕事をする事
C スポーツをする事

答えをA・B・Cの中から選んでいただき、ハガキ・FAX・E-mailの何れかでご回答ください。正解者の中から、抽選で5名様に2,000円のUCギフトカードを差し上げます。また、ご意見・ご感想等をお寄せいただき、掲載させていただいた方には粗品をプレゼントします。

■締 切 日 2014年8月31日(日)まで [消印有効]

■記載項目 ①お名前 ②電話番号 ③郵便番号と住所
④クイズの答 ⑤メッセージ

応募先 〒420-0851 静岡市葵区黒金町5-1
県労福協「だより編集係」
FAX 054-273-3110

E-mailは労福協ホームページの郵便ポストをご利用ください。



郵便ポストをクリック

クイズ 前回の答え

- (1) A ぼうさいカフェ
(2) B ゲートキーパー
(3) C 内閣府

当選者

- 周智郡森町 鈴木 圭子 様
○静岡市 風間 千恵美 様
○御殿場市 松本 辰男 様
○静岡市 勝又 敦子 様
○浜松市 服部 真也 様

応募総数46通の内、正解者の中から抽選した結果上記の方が当選されました。おめでとうございます。

労福協のホームページ

*クイズの応募やご意見等の投稿ができます

検索サイトはこちらから

静岡県労福協

検索

労福協のブログ

*営業日は毎日アップしています。

検索サイトはこちらから

こちら黒金町

検索





家族の“まさか”を支える安心の保障です。

“まさか”のけがや病気に、予期せぬアクシデントに。

こくみん共済は、年齢や性別にかかわらず、手頃な掛金でムリなく加入できる、安心の保障です。

あなたと家族一人一人の“まさか”を支えます。

世代を超えて、安心をつなぐ。

こくみん共済

個人定期生命共済・子ども定期生命共済・熟年定期生命共済・傷害共済・個人賠償責任共済・終身生命共済・個人長期生命共済

総合タイプ

医療安心タイプ

キッズタイプ

シニア医療タイプ

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて各都道府県生協の組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済ホームページ

<http://www.zenrosai.coop>

まさか

検索



暮らしをトータルに見守る多彩な共済
<http://www.zenrosai.coop/shizuoka>
全労済静岡県本部
静岡県労働者共済生活協同組合

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠2-13-4 ☎054-254-1180

東部支所(共済ショップ沼津店) 〒410-0046 沼津市米山町11-24 ☎055-923-1755

中部支所(共済ショップ静岡店) 〒420-0839 静岡市葵区鷹匠2-13-4 ☎054-254-3312

西部支所(共済ショップ浜松店) 〒430-0929 浜松市中区中央3-15-37 ☎053-453-5888



労福協だより 2014 夏号

発行日/平成 26 年 7 月 1 日 発行所/ (一社) 静岡県労働者福祉協議会
発行責任者/ 金指 敦之 TEL.054-221-6241 FAX.054-273-3110

検索サイトからもご覧いただけます

●Eメール

●インターネットホームページ

rofukukyo@mx1.s-cnet.ne.jp

<http://plaza3.dws.ne.jp/~scn00855/>

静岡県労協

検索